

告知

さんかくウィーク 2026

岡山市男女共同参画推進週間

テーマ▶「ひらく、つながる、わたしのまち」

記念イベント▶ 2026年 6月21日(日)

令和8年6月21日から27日を「さんかくウィーク（男女共同参画推進週間）」と定め、前後1週間を含めた約3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくためのイベントを開催します。詳しくは5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、区役所、公民館などで配布するチラシをご覧ください。

※さんかくウィーク期間中は、上記日程以外にさんかく岡山、公民館、図書館など市内各所で様々なイベントを開催いたします。

過去のさんかくウィークで開催したイベント



さんかくウィーク実行委員会Instagram



SANKAKUWEEK_OKAYAMA

令和7年度表彰事業者のご紹介

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

過去に表彰された企業



株式会社シーズ

テレワークや短時間正職員制度の導入などにより、仕事と育児の両立を支援するとともに、誰もがワーク・ライフ・バランスを大切にしたい多様な働き方ができる職場環境づくりに取り組んでいます。また、女性の職域の拡大や、役職への積極的な登用など、女性の活躍促進に関する取組を実施しています。

このように、社員のワーク・ライフ・バランス及び女性活躍の推進に積極的に取り組んでいることを高く評価いたしました。



編集委員の ちょっと一言

ジェンダー平等へ

ジェンダー平等の実現一。国連の持続可能な開発目標(SDGs)の一つである。昨年の日本のジェンダーギャップ指数は世界118位で「ジェンダー後進国」とやゆされている。この目標を達成しなければいづれ社会が成り立たなくなるとさえいわれる。初の女性首相が誕生し、政治・経済界をはじめ、あらゆる組織の人が国連の目標に向け本腰を入れる時だと思うが…。

(藤田 学)

カップルチャンネル!?

先日、大学生に「結婚のイメージはどこから得ている?」と尋ねたところ、「SNSのカップルチャンネル」という回答が少なからずあり、驚きました。自分と若者とは、見えている景色はずいぶん違うようです。正直よくわかりませんが、食わず嫌いもよくないので少しのぞいてみようかなと思っています。

(水ノ上 智邦)



Z世代が見つめる未来

アンケートから浮かび上がったのは、性別にしばられず「どう生きたいか」を基準に未来を選ぼうとする学生たちの姿でした。この確かな変化が、誰もが自分らしく働ける社会への一歩。私たちもその歩みを支え、共により良い未来を形づくっていきましょうと思います。

(室谷 亜貴)

日常にある平等

ジェンダー平等を意識しすぎて「意識の高い選択」を強いてしまつては本末転倒です。学生たちの言葉から、過度な意識は圧力になり得ることを痛感しました。「あるべき」と戦うのではなく、ただ自然体でいること。そんな「日々の延長」にある平等を、私たち大人が守っていききたいですね。

(吉井 朋)

若い世代の未来は明るい

私には小学生の子供がいる。異性であっても関係無く仲良くしており、時には1対1で帰宅することもある。基本的に男女関係なく人間として向き合う姿勢が身についている。大学生のアンケートからもそういった意識が見て取れた。若い世代の健全な感覚は日本のジェンダー意識がより健全で自然なものになっていることを予感させる。

このまま、性差にとらわれず、個人として生きられる世の中に変わって欲しいと願う。

(吉田 彩子)